

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	栃木県	事業実施主体	那須塩原市・那須町	地域再生計画名	「那須野が原台地」の観光・農業を支えるみちネットワーク計画
計画期間	令和4年度～令和8年度	評価責任者	那須塩原市建設部長、那須町建設課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準年度		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	目標				年度	中間実績		基準年度					
	目標 1	農産物直売所年間販売額の増加	773.77 3千円	R2	820.199 千円	R6	1,743,056千円	851,151 千円	R8	○	指標 総数		達成 数
	目標 2	道の駅年間来客数の増加	1,541,414人	R2	1,587.6 56人	R6	2,199,850人	1,618.4 85人	R8	○	3		3
目標 3	年間観光客宿泊数の増加	1,755,929人	R2	1,861.2 84人	R6	2,780,979人	1,931.5 22人	R8	○				
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 (R6)	最終実績 見込み								
特別措置を適用して 行う事業	市道整備事業（整備延長）		40,700m	11,727	40,700m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、約29%と遅れが伺えるため、必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
	農道整備事業（整備延長）		5,000m	2,720m	5,000m	当初計画に対し路線延長から見る進捗率は約54%と遅れが伺えるが、必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
その他の事業	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例		那須町の地方版総合戦略「まち・ひと・しごと創生那須町総合戦略」で定める4つの基本目標（「那須で稼ぎ、安心して働けるようにする」「那須とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる」「那須で結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な那須をつくる」）に資する事業を、応援税制に基づく企業からの寄付金を活用しながら実施する。			4つの基本目標の内、リビングシフト推進事業の一環として、地域の魅力を再発見し、都市から地方への移住・定住を促進するための施策を展開している。具体的には、移住者向け支援の拡充や、交流イベントの開催を通じて地域コミュニティの活性化と住民の定着化を目指している。また、移住・定住に繋げることで地域の人口減少問題の解消と持続可能なまちづくりを推進していく。							
計画外で独自に実施 した事業	就農促進事業		農業の担い手の高齢化と後継者不足に伴い、国の補助金等を活用した新規就農者の確保・育成に取組み、持続可能な農業が営まれるよう支援する。			新規就農者の確保・育成に関する取り組みとして、国の補助金である新規就農者育成総合対策（経営開始資金、経営発展支援事業）を活用し、新規就農者が就農を継続できるよう支援を実施した。また、マイナビ農業を活用した新規就農者向けの情報発信に取り組みながら、那須塩原市農業公社と連携し、新規就農希望者の青年等就農計画作成の支援を実施した。							
	親元支援事業		新規農業後継者に対する必要な農機等の整備に対する補助金を交付する。			土地利用型農業後継者の機械導入費の3分の1を助成している（上限100万円）。年間1～3件程度支給している。							
	持続可能な観光の実現を目指す取組		国際基準に沿った取組を行っていくことで持続可能な観光地として差別化を図り、持続可能な観光地マネジメントを推進する。			環境への配慮などの基準を満たした持続可能な観光地として、国際的に認められた地域に与えられる表彰ラベル及び認証制度であるグリーン・デスティネーションズにおいて、表彰ラベルの取得を目指し取り組んでいる。							
	誘客対策事業		イベント等の観光誘客宣伝事業及び那須温泉旅館協同組合が実施する観光誘客対策事業に対する補助を行う。			首都圏や関西方面において、栃木県や近隣市町村と連携し、イベント出展等を実施した。また、那須温泉旅館協同組合が実施する観光誘客対策事業に対する補助を実施した。							
③評価方法	地域再生計画評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法	那須塩原市建設部都市建設課及び那須町建設課のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市町道整備と農道整備を一体的に行うことにより、農産物や加工品の品質低下を防ぎ、生産等拠点施設間の連携の強化を図ることや、緊急輸送道路へとつながる路線を整備することにより、地域間の安心安全を確保しつつ、豊富な観光資源への広域的ネットワークを快適な環境とすることで、地域資源を生かした農業関連施設の発展が、生活環境の改善や観光等其他の産業の活性化につながり、持続可能な地域づくりを目指すことを目的としている。 目標についてはすべて達成しているが、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくことが望ましい。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）					目標については既に達成しているが、原因として、計画策定時には想定できなかった事案（コロナの5類移行、道の駅の改修等）が大きく影響しているため、現状に合わせた修正を行う。							
	令和8年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額					千円							
⑦今後の方針等に対する対応	●事業期間延長計画の変更の認定申請を予定。 ●那須塩原市市道27路線削除に伴う整備事業量、事業費の見直し ・整備事業量 認定時44,488m→見直し後22,282m [22,206m減] ・総事業費 認定時3,249,414千円→見直し後2,069,999千円 [1,179,415千円減] ※記載の整備事業量及び総事業費は想定のため、今後変更の可能性あります。												